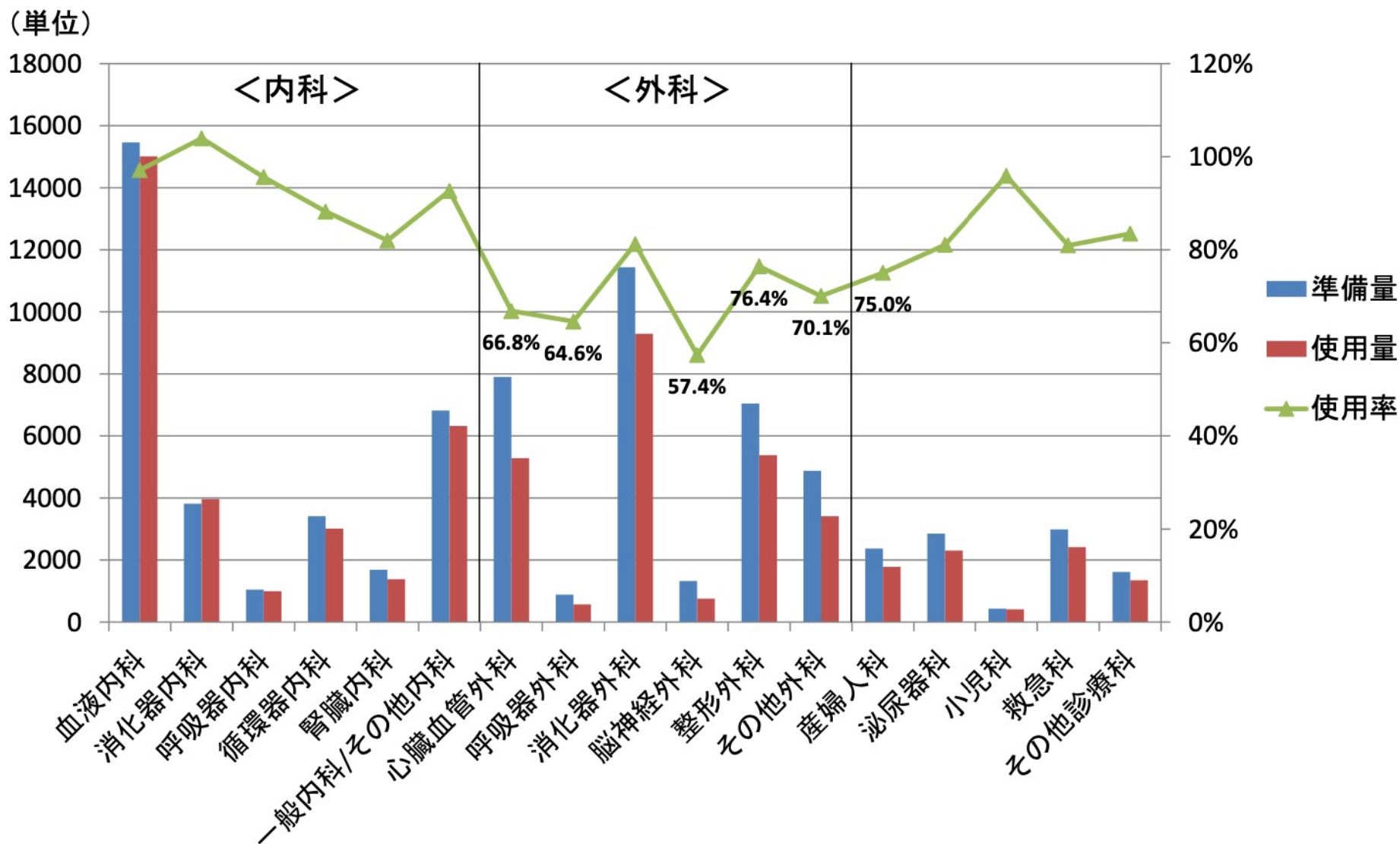


赤血球製剤

診療科別 準備量・使用量



現場に行ってみよう！

病院間相互訪問



病院間相互訪問の目的

- 廃棄血削減に向けてお互いのアイデアを出す（現状の把握）
- 県内の検査技師、看護師、医師のコミュニケーション、情報共有を図る
- 技師、看護師、（医師）の応援

群馬県合同輸血療法委員会による施設訪問

<訪問施設>

アンケート調査で廃棄率の高かった同規模の2施設

<訪問日時>

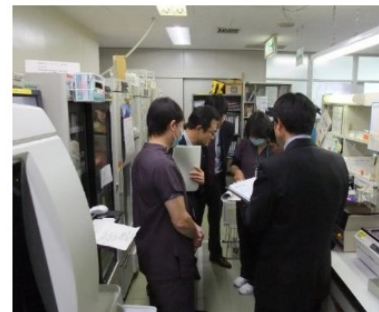
平成27年2月2日 { ① 13時～14時 : A病院
② 14時30分～16時 : B病院

<訪問者>

- 群馬県合同輸血療法委員会のメンバー5名
(医師:1名、臨床検査技師:2名、薬剤師:2名)
- A病院及びB病院の輸血部門の担当者・責任者

<訪問内容>

検査施設及び保管設備の見学、事前配布の調査票に基づく聞き取り調査、廃棄削減のための意見交換



A病院

病床数: 300～399床

使用量: 1,494単位

廃棄量(率): 276単位(18.5%)



相互訪問

輸血部門の担当者・責任者
がお互いの施設を訪問



B病院

病床数: 200～299床

使用量: 3,074単位

廃棄量(率): 464単位(15.1%)

調査票 I

< 調査内容 >

I. 輸血療法委員会について

1. 輸血療法委員会の構成委員を教えてください。

医師 検査技師 看護師 薬剤師 事務 その他

2. 差支えなかったら参加者名簿を見せてください。

←
←
←

3. 差支えなかったら輸血療法委員会の議事録を見せてください。

←
←
←

4. 輸血責任医師や輸血療法委員長の輸血療法への関与の程度を教えてください。

←
←
←

II. 輸血管理体制について

1. 通常、どのくらいの在庫量がありますか？

	A 型	O 型	B 型	AB 型
赤血球製剤(単位)				
血漿製剤(単位)				

←



改善のための提案



病床数: 300~399床
使用量: 1,494単位
廃棄量(率): 276単位(18.5%)

輸血療法 委員会

- 委員長の委員会への積極的な関与が必要(委員会への出席率改善、委員会の司会及びまとめを委員長が行う)
- 麻酔科医が参加してはどうか

手術準備血

- まずは手術の血液準備量を適正化するための根拠となる準備量・出血量・輸血量の統計をとり、その数字をもとに医師と相談してはどうか

未使用血液 の管理

- 手術準備血を術後3日間くらい念のため確保している場合があるようだが、手術翌日の自動返却としてはどうか

群 合 輸 第 号
平 成 年 月 日

脳神経外科循環器科病院

群馬県合同輸血療法委員会
代表世話人 横濱 章彦
(群馬大学医学部附属病院輸血部部長)

施設訪問の報告書について

平素より当委員会活動に対しまして御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、県内における血液製剤の適正使用推進活動の一環として、貴施設への施設訪問を実施しましたので、別紙のとおりご報告申し上げます。

4. 貴施設の良い点

(1) 施設について

- 輸血責任医師、検査技師ともに輸血医療全般について高い意識を持っている。
- 理事長先生や輸血責任医師のリーダーシップの下、輸血のみならず安全な医療を目指している。
- 輸血管理料を取得している。
- 輸血に関する勉強会を院内で開催しており、輸血に関する職員教育にも力を注いでいる。

5. 貴施設の改善すべき点

(1) 輸血療法委員会について

- 廃棄血の金額を年1回報告しているとのことですが、毎回報告してはいかがでしょうか。

(2) 輸血管理・実施体制について

- 血液製剤専用保冷庫のない部署での血液製剤の一時保管、そうした部署から返却された血液製剤を他の患者様に転用されているそうですが、転用が前提であれば保冷庫の温度管理にもう少し気を配られてはいかがでしょうか。あるいは、指針にある30分ルールを適応するなど考慮されてはいかがでしょうか。
- C/T比と一緒に準備量、出血量、輸血量などのデータも揃えるとより説得力のあるデータとなり、医師と手術準備血を話し合う際にはとても有用だと思います。

6. 貴施設の今後の課題と訪問者のコメント

(1) 輸血療法委員会について

- 血液製剤の使用が多い心臓血管外科の医師にも輸血療法委員会に参加して頂いてはいかがでしょうか。

報告書を郵送してましたが・・・。

気がついたこと・・・

技師、看護師、事務は適正使用を推進しようとしている

医師は・・・？

輸血に熱心な医師がいることは少ない

院長にお話ししよう

群 合 輸 第 号 ←
平 成 年 月 日 ←
←

脳神経外科循環器科病院 ←

群馬県合同輸血療法委員会 ←
代表世話人 横濱 章彦 ←
(群馬大学医学部附属病院輸血部部長) ←

←
←
←

施設訪問の報告書について ←

←
←

平素より当委員会活動に対しまして御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。 ←

この度、県内における血液製剤の適正使用推進活動の一環として、貴施設への施設訪問を実施しましたので、別紙のとおりご報告申し上げます。 ←

←

現在は、院長に直接ご説明に伺っています。（県薬務課長と私）

翌年の合同輸血療法委員会

当院における輸血使用状況

社会医療法人 輝城会 沼田脳神経外科循環器科病院
研究検査課 小菅 慎也

当院における血液製剤 使用状況と廃棄について



北関東循環器病院検査部
第3診療支援部 検査課
品川 雄士
近藤 洋子 高田裕之

北関東循環器病院

指導いただいた内容

- 1) 手術時の製剤の導線が繁雑
 - 2) 手術用準備血の全量出庫
 - 3) 病棟での製剤の一次保管
 - 4) 術式別の輸血準備量等の統計⇒T&Sの導入、自動返却へ
 - 5) 輸血責任医師が明確でない
 - 6) 輸血療法委員会への医師の参加が少ない
-

改善行動

- 輸血責任医師の任命 ⇒ 輸血療法委員長(外科部長)
 - 術式別の準備血、使用量の統計 ⇒ 2015年1月より集計
 - 手術用準備血自動返却の実施
 - 手術用準備血の導線の変更
 - 使用時使用分だけの出庫
- 2015年11月2日より実働
-

2012年度群馬県合同輸血療法委員会講演会

救急病院における 廃棄血削減の試み

岡山赤十字病院
輸血療法委員会
福島臣啓

ペインクリニック科 >>診療科のページはこちら



ペインクリニック科部長

福島 臣啓 Tomihiro Fukushima

昭和59年卒業

● 専門領域

麻酔・集中治療・ペインクリニック

● 資格

日本麻酔科学会指導医

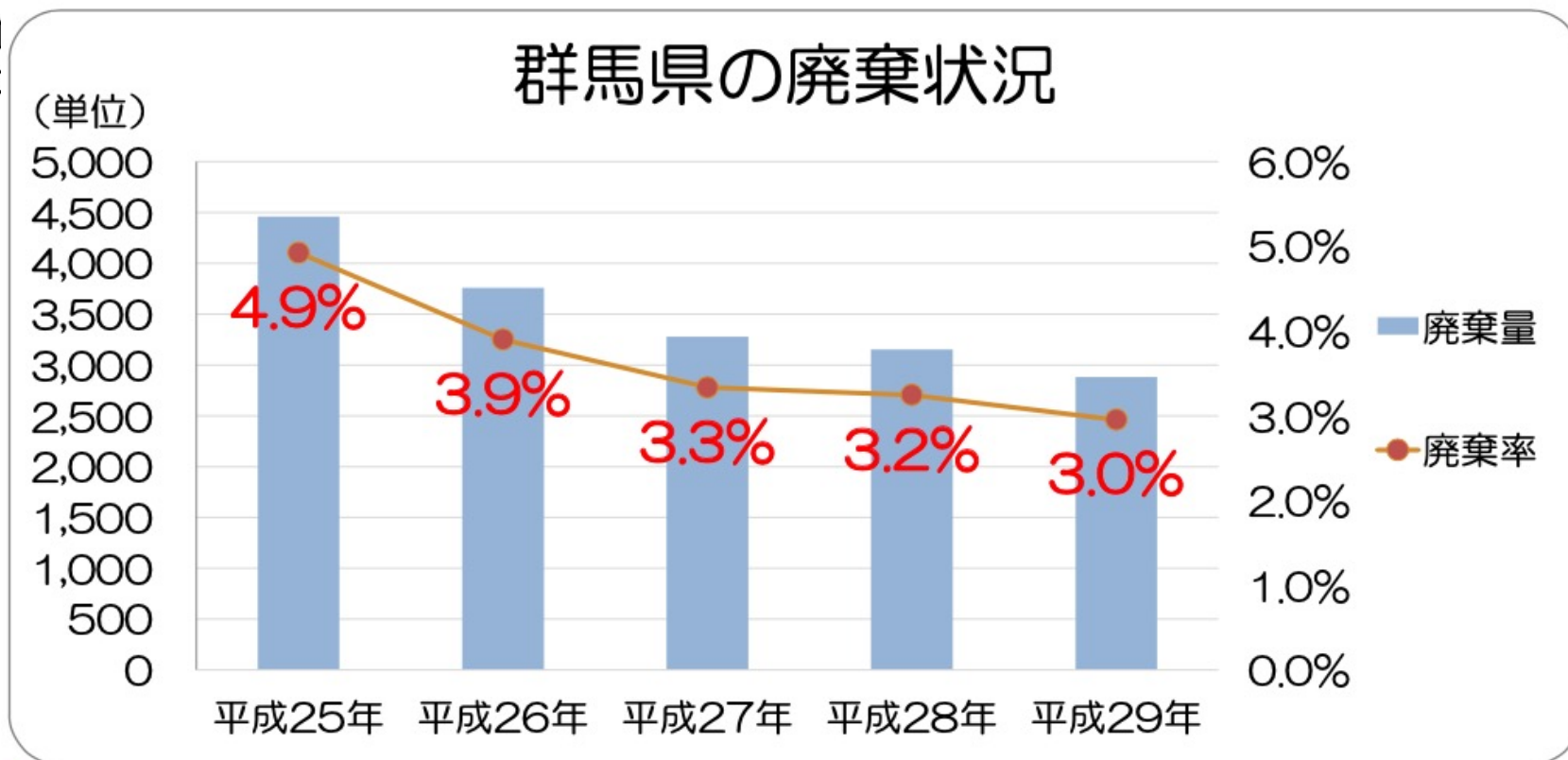
日本ペインクリニック学会専門医

日本集中治療医学会専門医

群馬県合同輸血療法委員会による 医療機関相互訪問

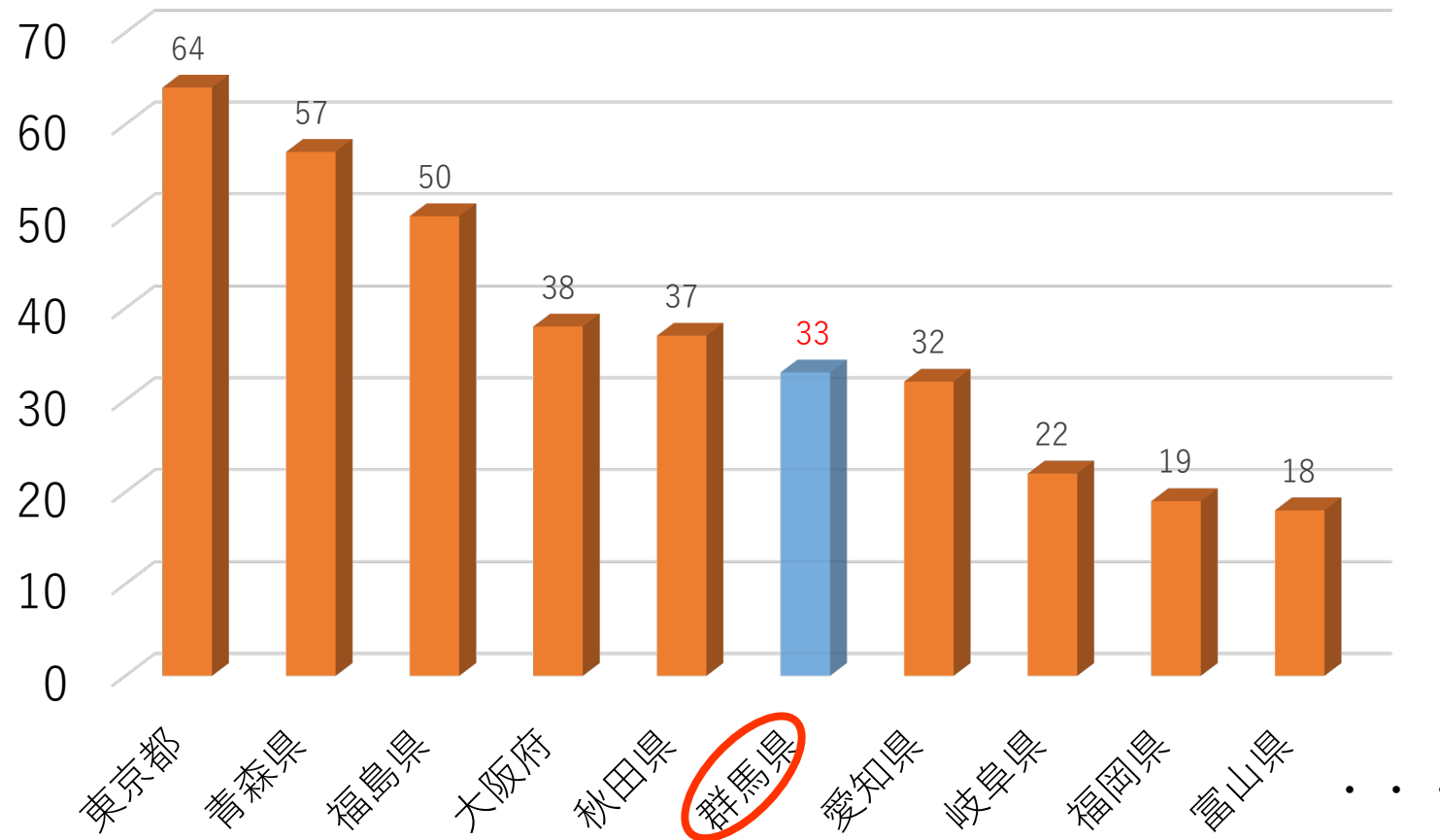
～廃棄削減と地域輸血医療の均てん化～

群馬県赤十字社
群馬県立がんセンター
坂倉慶太^{1,7)}、
松本則子^{5,7)}、



4)、
中西文江^{4,7)}、

都道府県別 学会認定・臨床輸血看護師取得者数



*日本輸血・細胞治療学会ホームページ
学会認定・臨床輸血看護師一覧より引用